



2 年次研修旅行～沖縄の方々の温かさに包まれて

11月25日から28日までの3泊4日で2年次生が沖縄研修旅行に行ってきました。

本校では、事前にそれぞれの生徒が研修テーマを決め、沖縄でそのことを検証し、レポートにまとめることになっています。そのため、あえて修学旅行とは呼ばず研修旅行と呼んでいます。



コース別選択研修 サトウキビ刈りから黒糖作り

今年の研修旅行の目玉は、民泊が2泊あることです。1泊目はホテルで年次全員で泊まるのですが、その後は本部町の民家に4人程度に分かれて53のご家庭に民泊をさせていただきました。

見ず知らずの家に2泊もすることは、生徒にとって、期待よりも不安が大きかったと思います。友達と一緒にとはいえ、上手くやっていけるか心配だったでしょう。

旅行が終わり、どういう様子だったか、いろいろな先生に聞いてみると、「民泊はとても良かったと生徒が言っています」さらに、「お礼の色紙を作成しているので見てみてはどうです」とのこと。

早速、見てみると、様々な表現ではありますが、最初の不安が最後には別れがたい気持ちになり、感謝の言葉であふれていました。一緒に料理やお菓子を作ったこと、三線を教えてもらったこと、島草履や貝細工などの製作、シュノーケリングやカヤックなどのマリンスポーツ体験、農業や釣りの体験などなど、各ご家庭で工夫していただいたことがよく分かりました。生徒は大事にしてもらったことを強く感じているようで、今度沖縄に行ったらまた会いに行くとも書いてありました。

ある先生が、「離町式のあとに村の方が泣きながらやって来られて、こんな良い子たちを連れてきてくれてありがとうございますと感謝されました」と教えてくれました。

人としっかりと出会えた旅ができたようです。人を通して人間の営みや温かさ・優しさを感じ取ってくれたようです。そして、沖縄の方々が彼らにとってどれだけ近い存在となったことか。本部町の皆さんに感謝いたし

ます。

これから、今回の体験をレポートにまとめていき発表会が開かれます。どのような発表がされるのか、期待をしています。

介護職員初任者研修修了式～試練の果ての成長

12月12日(金)に介護職員初任者研修高校生コースの修了式が本校で行われました。泉区社会福祉協議会事務局の知久様をご来賓に迎え、今回のプログラムを実施していただいた社会福祉法人たすけあい泉の吉川理事長様から修了証を授与していただきました。

介護福祉基礎の受講者15名が見事に、課外で土日を活用して行われた同研修に15日分参加・研修し、試験に合格することができ、この日を迎えました。

主に土曜日の丸1日をこの研修で学び、2回の現場実習があり、筆記試験で合否が決まる、厳しい内容です。

修了式後の生徒の感想を書きます。

- すごく大変だった。でも両親の介護をするために目指した。
- 現場を体験してやりがいのある職業だと実感した。意識が変わった。
- 母の影響で小学生から本気で福祉をやりたいと思っていた。高校を出て福祉の世界で働く。
- 中学の時に障害のある方々の運動会の手伝いをしてから、福祉に興味を持ち、この講座があったので、緑総に進学した。
- コミュニケーション力のなさを痛感した。ありがたい一言がうれしかった。



15人の言葉にはやり遂げた達成感が詰まっていた。つらかった思いや始めた動機を語りながら、実習での「ありがとう」の言葉に、心を揺さぶられるような喜びを感じたようです。現場の厳しさの一端を知り、さらに学び続けてもらいたいものです。みなさん、よくやりました！

校長 遠藤 誠